



2026年4月20日

各位

会社名 株式会社メディカルー光グループ  
代表者名 代表取締役社長 南野利久  
(コード番号：3353 東証スタンダード)  
問合せ先 上席執行役員 財務・IR部長 小田恭右  
TEL 059-226-1193 (代表)

(訂正・数値データ訂正)

「2026年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正について

当社、メディカルー光グループは、2026年4月6日 15時30分に発表した表記開示資料につきまして、一部記載内容に誤りがございましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

「2026年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後に、投資有価証券の時価評価や連結財務諸表に関する注記事項に記載のセグメント情報等に誤りがあることが判明しましたので、関連する箇所の訂正を行うものです。

2. 訂正の内容

訂正箇所が複数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以上



2026年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年4月6日

上場会社名 株式会社メディカルー光グループ 上場取引所 東  
 コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 財務・IR部長 (氏名) 小田 恭右 (TEL) 059(226)1193  
 定時株主総会開催予定日 2026年5月20日 配当支払開始予定日 2026年5月1日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年5月19日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期の連結業績(2025年3月1日~2026年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期	54,982	13.6	2,632	7.2	1,788	5.7	1,859	2.4	1,275	12.5
2025年2月期	48,393	21.3	2,455	4.8	1,692	8.5	1,816	3.7	1,133	9.0

(注) 包括利益 2026年2月期 1,992百万円(89.7%) 2025年2月期 1,050百万円(△24.0%)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年2月期	338.73	—	8.6	5.2	3.3
2025年2月期	301.35	—	8.3	5.5	3.5

(参考) 持分法投資損益 2026年2月期 ー百万円 2025年2月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期	37,576	16,338	41.7	4,164.98
2025年2月期	34,231	14,712	41.2	3,747.70

(参考) 自己資本 2026年2月期 15,684百万円 2025年2月期 14,097百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年2月期	1,208	△1,814	△283	5,749
2025年2月期	1,198	△1,134	△1,027	6,639

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年2月期	—	25.00	—	40.00	65.00	244	21.6	1.8
2026年2月期	—	60.00	—	60.00	120.00	451	35.4	3.0
2027年2月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00		34.8	

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	28,000	4.0	900	21.0	950	7.9	750	12.5	199.15	
通期	56,500	2.8	1,800	0.7	1,850	△0.5	1,300	2.0	345.20	

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年2月期	3,770,000株	2025年2月期	4,070,000株
2026年2月期	4,121株	2025年2月期	308,273株
2026年2月期	3,764,215株	2025年2月期	3,760,277株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17
4. その他	18
(1) 役員の異動	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年3月1日～2026年2月28日)における我が国の経済は、物価上昇や外需減少により、景気回復に足踏みがみられたものの、企業収益は底堅く推移しており、景気は緩やかに回復してきたものとみられております。今後は、中東情勢の不確実性と、それに伴う原油価格の高騰、国内物価高の進行には注意を要するものの、財政の後押しも期待され、物価上昇にともない賃金も上昇する好循環に向かうと考えられております。

このような環境のもと、当社グループは2025年4月に設立40周年を迎えました。これを機に中期経営計画を策定し、向こう3年間でさらなる成長を加速させるべく、当連結会計年度を『Re-Start(再始動)』の初年度と位置づけ、足元の事業を取り巻く大きな環境変化に迅速に対応するとともに、患者さま、利用者さまの安全確保にも引き続き注力し、事業活動の継続に努めてまいりました。

当連結会計年度におきましては、ヘルスケア事業において、当社子会社である株式会社ハピネライフ光が、2025年3月に約6年ぶりとなる新設の有料老人ホーム「ハーモニーハウス桑名」を開設、2025年8月には茨城県で介護事業を展開する株式会社サンライズヴィラ土浦の全株式を取得いたしました。

また、医薬品卸事業において、当社グループ中核子会社である株式会社メディカルー光が、2025年5月に高知県で医薬品卸事業を展開する高知第一薬品株式会社の全株式を取得いたしました。同年7月には、愛知県を地盤とする株式会社サイト薬品も同様に全株式を取得いたしました。

一方、M&Aにより急拡大したグループの再編、内部統制の強化にも努めてまいりました。医薬品卸事業におきましては、2025年3月に、当社グループ中核子会社である株式会社メディカルー光が、子会社(当社孫会社)である、株式会社佐藤薬品販売および株式会社若松薬品を、同年6月には京葉沢井薬品株式会社を吸収合併しております。また、当連結会計年度中に子会社化しました、高知第一薬品株式会社、株式会社サイト薬品も、各々2025年9月、同年12月に株式会社メディカルー光と合併しております。

このように当連結会計年度において、引き続き、M&Aを展開し規模拡大を進めつつ、これまでのM&Aの統合効果発揮に向けて組織改編を含めた統制強化に努めてまいりました。今後も、厳しい経営環境の中、M&Aを中心とする事業規模拡大を図りつつ、安定した経営基盤の構築を目指してまいります。

なお、グループ全体の拠点網は、当連結会計年度末において、1都1道2府24県の地域に拡大しております。

この結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高54,982百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益1,788百万円(前年同期比5.7%増)、経常利益1,859百万円(前年同期比2.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,275百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、当連結会計年度の既存店舗の処方箋応需枚数は前年同期比減少しました。一方、処方箋単価の上昇に加え、前連結会計年度に子会社化した株式会社京寿薬品や、事業譲受けした薬局2店舗が通期寄与し、部門全体の売上高は増収を確保しております。

この結果、売上高26,291百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益1,373百万円(前年同期比11.3%増)となりました。なお、当連結会計年度末における当社グループの調剤薬局は合計98店舗となっております。

#### (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、2025年3月に「ハーモニーハウス桑名」を新設オープンしたほか、同年8月には株式会社サンライズヴィラ土浦の全株式を取得いたしました。引き続き人件費の上昇に加え、M&A費用の計上、新設施設の先行費用により、営業利益では減益となっております。

この結果、売上高8,990百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益111百万円(前年同期比31.7%減)となりました。なお、当連結会計年度末における当社グループの介護関連施設および事業所は115施設・事業所(入居居室数1,904室)となっております。

#### (医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、収益環境は前連結会計年度以上に厳しい状況に直面しております。こうしたなか、前連結会計年度に当社グループに加わった3社が通期寄与したことに加え、当会計年度に新たに2社をグループに加えたことで、売上高は前連結会計年度比大幅に増加しました。

しかしながら、薬価引き下げの影響や、統合費用の先行により、利益面では前連結会計年度を下回ることとなりました。

この結果、売上高19,447百万円(前年同期比26.6%増)、営業利益287百万円(前年同期比16.7%減)となりました。(内部売上を含む売上高は20,641百万円となり、前年同期比で27.4%増加しました。)

#### (不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高254百万円(前年同期比24.8%増)、営業利益144百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益228百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として1,206百万円を消去するとともに、全社における共通経費として128百万円を計上しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は37,576百万円となり、医薬品卸事業及びヘルスケア事業における子会社取得等により前連結会計年度末と比較して3,344百万円増加いたしました。

流動資産の合計は19,146百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,181百万円増加いたしました。これは主に、売掛金が883百万円、商品が145百万円、流動資産のその他が800百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が647百万円減少したこと等によるものです。固定資産の合計は18,429百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,162百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が992百万円、建物及び構築物(純額)が510百万円、土地が259百万円、投資その他の資産のその他が505百万円それぞれ増加したものの、敷金及び保証金が115百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は21,237百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,717百万円増加いたしました。これは主に、流動負債のその他が688百万円、固定負債のその他が458百万円、買掛金が315百万円、長期借入金(1年内返済予定を含む)及び短期借入金が222百万円、社債が150百万円それぞれ増加したものの、未払法人税等が161百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は16,338百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,626百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が623百万円増加、自己株式が524百万円減少、利益剰余金が405百万円増加したこと等によるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して889百万円減少し、7,749百万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローで1,208百万円増加したこと、投資活動によるキャッシュ・フローで1,814百万円減少したこと、財務活動によるキャッシュ・フローで283百万円減少したことによるものです。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1,208百万円(前年同期比9百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2,024百万円、減価償却費・のれん償却額844百万円などの増加要因と、法人税等の支払923百万円、売上債権の増加576百万円、投資有価証券売却益228百万円などの減少要因によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、1,814百万円(前年同期比679百万円の支出増加)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入612百万円、敷金及び差入保証金の回収による収入121百万円などの増加要因と、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,029百万円、有形固定資産の取得による支出988百万円、投資有価証券の取得による支出385百万円、その他による支出108百万円などの減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、283百万円(前年同期比744百万円の支出減少)となりました。これは主に、長期借入金の純増加770百万円などの増加要因と、短期借入金の純減少650百万円、配当金の支払376百万円などの減少要因によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期
自己資本比率(%)	39.1	43.8	41.8	41.2	41.7
時価ベースの自己資本比率(%)	32.9	35.4	27.7	24.2	30.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	10.0	7.0	2.2	8.4	8.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	19.2	26.1	79.2	18.4	11.8

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業活動によるキャッシュ・フロー/利払い

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、調剤報酬の改定を控え、業界全体に厳しい環境が予想されております。そうした中、当社グループは、引き続きM&Aの活用によるトップラインの拡大を図るとともに、内部体制を充実し、統合効果を早期に発揮することで安定した収益力の構築を進めてまいります。

そのうえで、2027年2月期においては、当連結会計年度において進めてまいりましたM&A効果の最大化により、売上高56,500百万円、営業利益1,800百万円、経常利益1,850百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,300百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当連結会計年度 (2026年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,768,998	6,121,536
受取手形	7,439	11,410
売掛金	7,478,539	8,361,680
商品	2,215,859	2,361,345
その他	1,500,685	2,300,691
貸倒引当金	△6,487	△10,254
流動資産合計	17,965,034	19,146,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,676,578	14,416,727
減価償却累計額	△7,687,419	△7,916,666
建物及び構築物 (純額)	5,989,158	6,500,060
車両運搬具	141,377	132,530
減価償却累計額	△97,863	△86,054
車両運搬具 (純額)	43,513	46,475
工具、器具及び備品	1,762,562	1,932,016
減価償却累計額	△1,465,575	△1,552,246
工具、器具及び備品 (純額)	296,987	379,770
土地	3,588,121	3,847,313
建設仮勘定	124,233	132,475
有形固定資産合計	10,042,014	10,906,096
無形固定資産		
のれん	816,413	774,657
その他	173,199	162,630
無形固定資産合計	989,612	937,288
投資その他の資産		
投資有価証券	2,405,444	3,398,068
繰延税金資産	521,054	488,807
敷金及び保証金	1,167,481	1,052,460
その他	1,141,133	1,646,987
投資その他の資産合計	5,235,113	6,586,324
固定資産合計	16,266,740	18,429,708
資産合計	34,231,775	37,576,117

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当連結会計年度 (2026年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	6,414	994
買掛金	5,440,590	5,755,710
電子記録債務	625,034	674,767
短期借入金	1,180,000	530,000
1年内返済予定の長期借入金	2,609,852	2,281,353
未払法人税等	535,143	374,104
賞与引当金	266,885	307,236
その他	1,004,744	1,693,506
流動負債合計	11,668,666	11,617,672
固定負債		
社債	-	150,000
長期借入金	6,052,443	7,252,962
リース債務	175,552	150,105
退職給付に係る負債	1,100,344	1,086,186
その他	522,634	980,672
固定負債合計	7,850,975	9,619,926
負債合計	19,519,641	21,237,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	1,085,044	1,064,347
利益剰余金	12,391,773	12,797,102
自己株式	△531,724	△7,129
株主資本合計	13,862,094	14,771,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232,084	855,590
退職給付に係る調整累計額	3,682	57,907
その他の包括利益累計額合計	235,766	913,497
非支配株主持分	614,273	653,700
純資産合計	14,712,134	16,338,518
負債純資産合計	34,231,775	37,576,117

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年 3月 1日 至 2025年 2月 28日)	当連結会計年度 (自 2025年 3月 1日 至 2026年 2月 28日)
売上高	48,393,487	54,982,518
売上原価	42,649,129	48,496,911
売上総利益	5,744,358	6,485,607
販売費及び一般管理費	4,052,329	4,697,557
営業利益	1,692,028	1,788,050
営業外収益		
受取利息	7,745	15,722
受取配当金	65,017	84,597
助成金収入	99,586	139,267
その他	62,379	74,960
営業外収益合計	234,728	314,548
営業外費用		
支払利息	63,847	102,740
有価証券運用損	6,020	100,461
その他	40,794	40,376
営業外費用合計	110,663	243,578
経常利益	1,816,093	1,859,020
特別利益		
固定資産売却益	77,852	4,736
投資有価証券売却益	117,814	228,484
負ののれん発生益	-	41,591
補助金収入	-	50,171
受取和解金	110,000	-
特別利益合計	305,666	324,983
特別損失		
固定資産売却損	207	-
固定資産除却損	1,677	14,060
減損損失	203,206	1,648
固定資産圧縮損	-	50,171
役員退職慰労金	6,500	2,050
投資有価証券売却損	808	147
ゴルフ会員権評価損	4,000	-
賃貸借契約解約損	3,766	91,165
特別損失合計	220,166	159,244
税金等調整前当期純利益	1,901,594	2,024,759
法人税、住民税及び事業税	794,136	765,374
法人税等調整額	△39,661	△55,051
法人税等合計	754,474	710,323
当期純利益	1,147,119	1,314,435
非支配株主に帰属する当期純利益	13,953	39,362
親会社株主に帰属する当期純利益	1,133,165	1,275,072

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
当期純利益	1,147,119	1,314,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△100,927	<u>623,591</u>
退職給付に係る調整額	4,088	54,224
その他の包括利益合計	<u>△96,838</u>	<u>677,816</u>
包括利益	1,050,280	<u>1,992,252</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,036,348	<u>1,952,803</u>
非支配株主に係る包括利益	13,931	39,448

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	917,000	1,081,749	11,447,448	△537,933	12,908,264
当期変動額					
剰余金の配当			△187,996		△187,996
親会社株主に帰属する当期純利益			1,133,165		1,133,165
自己株式の取得					-
自己株式の処分		3,294		6,209	9,504
自己株式の消却					-
利益剰余金から資本剰余金への振替					-
連結範囲の変動			△844		△844
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	3,294	944,325	6,209	953,829
当期末残高	917,000	1,085,044	12,391,773	△531,724	13,862,094

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	332,990	△406	332,584	600,341	13,841,190
当期変動額					
剰余金の配当					△187,996
親会社株主に帰属する当期純利益					1,133,165
自己株式の取得					-
自己株式の処分					9,504
自己株式の消却					-
利益剰余金から資本剰余金への振替					-
連結範囲の変動					△844
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△100,906	4,088	△96,817	13,931	△82,885
当期変動額合計	△100,906	4,088	△96,817	13,931	870,944
当期末残高	232,084	3,682	235,766	614,273	14,712,134

当連結会計年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	917,000	1,085,044	12,391,773	△531,724	13,862,094
当期変動額					
剰余金の配当			△376,421		△376,421
親会社株主に帰属する当期純利益			1,275,072		1,275,072
自己株式の取得				△125	△125
自己株式の処分		3,435		7,265	10,701
自己株式の消却		△517,454		517,454	-
利益剰余金から資本剰余金への振替		493,322	△493,322		-
連結範囲の変動					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	△20,696	405,328	524,594	909,226
当期末残高	917,000	1,064,347	12,797,102	△7,129	14,771,321

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	232,084	3,682	235,766	614,273	14,712,134
当期変動額					
剰余金の配当					△376,421
親会社株主に帰属する当期純利益					1,275,072
自己株式の取得					△125
自己株式の処分					10,701
自己株式の消却					-
利益剰余金から資本剰余金への振替					-
連結範囲の変動					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	623,506	54,224	677,730	39,426	717,157
当期変動額合計	623,506	54,224	677,730	39,426	1,626,384
当期末残高	855,590	57,907	913,497	653,700	16,338,518

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,901,594	2,024,759
減価償却費	624,861	722,462
減損損失	203,206	1,648
のれん償却額	138,549	121,763
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,998	3,767
負ののれん発生益	-	△41,591
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△33,215	23,271
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	44,428	8,769
受取利息及び受取配当金	△72,763	△100,320
支払利息	63,847	102,740
投資有価証券売却損益 (△は益)	△117,005	△228,336
固定資産売却損益 (△は益)	△77,644	△4,736
固定資産除却損	1,677	14,060
賃貸借契約解約損	3,766	91,165
売上債権の増減額 (△は増加)	△401,118	△576,761
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△127,058	△37,923
仕入債務の増減額 (△は減少)	△343,541	22,406
未払費用の増減額 (△は減少)	24,719	87,515
預り保証金の増減額 (△は減少)	541	43,099
その他	29,590	△133,859
小計	1,868,433	2,143,904
利息及び配当金の受取額	69,134	90,390
利息の支払額	△65,238	△102,400
法人税等の支払額	△673,912	△923,790
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,198,417	1,208,104
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△997,078	△988,126
有形固定資産の売却による収入	7,564	6,216
無形固定資産の取得による支出	△38,428	△25,142
投資有価証券の取得による支出	△848,338	△385,925
投資有価証券の売却による収入	571,445	612,374
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,029,021
事業譲受による支出	△112,488	-
貸付けによる支出	△500,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	545,048	-
長期前払費用の取得による支出	△8,184	△11,209
敷金及び保証金の差入による支出	△31,374	△6,010
敷金及び保証金の回収による収入	177,385	121,123
その他	99,718	△108,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,134,731	△1,814,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年 3月 1日 至 2025年 2月 28日)	当連結会計年度 (自 2025年 3月 1日 至 2026年 2月 28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△397,000	△650,000
長期借入れによる収入	2,400,000	3,660,000
長期借入金の返済による支出	△2,815,781	△2,889,320
リース債務の返済による支出	△27,204	△27,756
自己株式の取得による支出	-	△125
配当金の支払額	△187,996	△376,421
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,027,981	△283,624
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△964,295	△889,662
現金及び現金同等物の期首残高	7,589,368	6,639,453
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	14,380	-
現金及び現金同等物の期末残高	6,639,453	5,749,790

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、調剤薬局を経営する「調剤薬局事業」、居住系介護施設・通所介護事業所・訪問介護事業所の運営、医療・介護に付随する業務を行う「ヘルスケア事業」、医療機関等への医薬品の販売を行う「医薬品卸事業」、不動産の賃貸業務を行う「不動産事業」について、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、事業形態を基礎とした、「調剤薬局事業」、「ヘルスケア事業」、「医薬品卸事業」、「不動産事業」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースで集計しております。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	連結財務諸 表計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への売上高	24,709,993	8,121,830	15,357,915	203,748	48,393,487	—	48,393,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	600	840,530	4,654	845,785	△845,785	—
計	24,709,993	8,122,430	16,198,445	208,403	49,239,272	△845,785	48,393,487
セグメント利益	1,234,207	163,324	344,912	137,928	1,880,373	△188,344	1,692,028
セグメント資産	7,524,760	9,372,312	6,110,615	2,051,560	25,059,249	9,172,526	34,231,775
その他の項目							
減価償却費(注)3	186,790	348,727	11,144	42,459	589,122	35,738	624,861
減損損失	140,998	62,207	—	—	203,206	—	203,206
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注)3	199,677	790,395	23,031	—	1,013,104	60,520	1,073,624

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△188,344千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,145,985千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額9,172,526千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産17,805,661千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現

預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。

(3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業			
売上高							
外部顧客への売上高	26,291,141	8,990,039	19,447,001	254,336	54,982,518	—	54,982,518
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	800	1,194,353	10,942	1,206,096	△1,206,096	—
計	26,291,141	8,990,839	20,641,354	265,279	56,188,615	△1,206,096	54,982,518
セグメント利益	1,373,467	111,525	287,217	144,612	1,916,824	△128,773	1,788,050
セグメント資産	7,427,848	<u>10,668,306</u>	6,661,069	2,783,794	27,541,018	<u>10,035,099</u>	<u>37,576,117</u>
その他の項目							
減価償却費 (注) 3	184,403	409,982	25,056	58,968	678,410	44,051	722,462
減損損失	—	1,648	—	—	1,648	—	1,648
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	<u>211,679</u>	<u>117,007</u>	<u>37,514</u>	<u>2,686</u>	<u>368,887</u>	<u>175,204</u>	<u>544,092</u>

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△128,773千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,108,388千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額10,035,099千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産18,578,369千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び子会社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資産(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
  - (3) その他の項目の調整額は、親会社の管理部門に係るものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用及び長期前払消費税等とこれらに係る償却額が含まれております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業		
当期償却額	24,145	93,022	21,381	—	—	138,549
当期末残高	222,686	593,726	—	—	—	816,413

当連結会計年度(自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	調剤薬局事業	ヘルスケア事業	医薬品卸事業	不動産事業		
当期償却額	24,074	97,689	—	—	—	121,763
当期末残高	198,611	576,045	—	—	—	774,657

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)		当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)	
1株当たり純資産額	3,747円70銭	1株当たり純資産額	4,164円98銭
1株当たり当期純利益金額	301円35銭	1株当たり当期純利益金額	338円73銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当連結会計年度 (2026年2月28日)
純資産の部の合計額(千円)	14,712,134	16,338,518
純資産の部の合計額から控除する金額(千円) (うち非支配株主持分(千円))	614,273 (614,273)	653,700 (653,700)
普通株式に係る純資産額(千円)	14,097,860	15,684,818
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(株)	3,761,727	3,765,879

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年3月1日 至 2025年2月28日)	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,133,165	1,275,072
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,133,165	1,275,072
普通株式の期中平均株式数(株)	3,760,277	3,764,215

(重要な後発事象)

当連結会計年度の決算日後、財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす事象は発生しておりません。

#### 4. その他

##### (1) 役員の変動

###### ① 新任取締役候補者

取締役 小田 恭右 (当社 上席執行役員 経理部担当 兼 財務・IR部長)

###### ② 異動予定日

2026年5月20日

##### (2) その他

該当事項はありません。